

前回までの委員会でのいただいたご意見に対する対応状況は以下のとおりです。

ご意見	対応状況
なとりコインをふるさと納税の返礼品として取り扱ってはどうか	財政課へ提案。ふるさと納税の返礼品として現地決済型の電子クーポン事業を実施済であることや、費用対効果が見合わないことから今年度・次年度における導入は見送り（詳細は別紙）
若年層に使ってもらうために、なとり子どもファンド事業の助成金（調査研究用）になとりコインを使用してはどうか	<p>市民協働課へ確認。以下の理由から見送り。</p> <p>1. 助成金の趣旨との整合性</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 子どもファンドは「子ども自身の自由な発想・活動を支援する」ことが目的。 ✓ なとりコインを使用すると、現金ではなく「市内の決まった加盟店でしか使えない通貨」を通じた支出になるため、子ども本人が自由に活動に使うという趣旨に合致しない。 <p>2. 利用実態との不一致</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 実際に助成金で使われている用途は、交通費、施設使用料、印刷経費、講師謝礼など。 ✓ なとりコインではこれらの支出に代替できず、助成金の使途として適さない。
若年層にリーチするために、若年層が使う店舗を営業してはどうか	若年層の利用促進に向けては、昨年度2月に実施したアンケートで20代以下のユーザーから「加盟してほしい」との要望が寄せられた店舗がありました。これらについては、プレミアム商品券事業の実施に伴い、ウエルシア、イオンモール名取、フレスコキクチ、コンビニなど、多くがすでに加盟済となっており、一定程度「使える店舗」のニーズには応えられている状況です。今後も引き続き、若年層を含む幅広い世代の利用拡大に資するよう、加盟店の開拓・営業活動を継続してまいります。
高年層にリーチするために、病院を開拓してはどうか	保険診療では使用不可。（なとりコインを使った決済が値引きとみなされる可能性があるため） ただし、自由診療やレジ横の物販では可能であるため、自由診療の割合が高い整骨院等を中心に営業予定
なとりコインプレミアムで若年層だが、紙カードタイプの購入を申し込んだ理由についてアンケート調査	左記の設問も含めたアンケートを作成中